

おはようございます。

令和 6 年第 3 回、9 月美作市議会定例会を招集しましたところ、議員各位のご出席を賜り、厚くお礼申し上げます。恒例に従いまして、美作市行政の状況を報告いたします。

【都市整備部 決起大会】

始めに、河川・道路整備等の要望活動について、7 月 18 日、東京都内において「安全・安心な県土づくり総決起大会」が開催され、県内の全県議会議員、市町村長および市町村議会議長が同大会に集結し、国土交通省および岡山県選出の国会議員に対し、県内の河川・道路等の建設事業が強力に進められるよう、国土強靱化のさらなる推進を各市町村長がアピールしました。その中で私からは、美作岡山道路の早期完成のため予算の確保について要望してまいりました。

また、8 月 19 日には鳥取河川国道事務所に出向き、国道 53 号黒尾峠高規格バイパス化（美作岡山道路北部延伸）について要望書を提出し、道路整備の必要性についてアピールしてまいりました。また、21 日には中国地方整備局道路部長に、28 日には国土交通省事務次官及び、道路局次長に対して、美作岡山道路北部延伸のほか国道 429 号道路整備及び、志引峠のトンネル化について、関係市町とともに要望してまいりました。

要望内容の実現に向け、今後も引き続き粘り強く要望してまいります。

【字の区域及び名称を変更することについて】

次に、美作市の新庁舎及び防災公園が整備されるエリアの新しい大字名につきまして、市内の小学生・中学生等を対象に、令和 6 年 4 月末頃に募集をいたしました。

その後、応募された中から選ばれた候補作品について、募集時と同じく市内の小学生・中学生等による投票により最終案を決定し、本議会に議案として提出しております。美作市の未来の主役となる子供たちが考え、選んだ、新しい大字名は、「美来（みらい）」でございます。このことが、当市の小中学生の集団的記憶として残り、未来のまちづくりの元になることを期待しております。

【勝田公民館建設】

次に、新たな勝田公民館の建設について、令和 3 年 9 月に勝田地域自治振興協議会役員や地元選出議員、行政職員によって構成された「勝田公民館に係る検討委員会」が発足し、7 度にわたる熟議を重ね、令和 5 年 4 月に「報告書」の提出を受けました。

この報告書には、若者から高齢者まで、誰もが気軽に集い、楽しみ、繋がる新たな公民館の建設を求められており、昨年度より改めて魅力あ

る地域交流拠点施設の建設に向け、地域の方々と更なる協議を重ねてまいりました。

また、主に若い住民の皆様の意見に基づいて、公民館と一体のものとして、自転車競技の BMX、スケートボード、3 人制バスケットボールなどのアーバンスポーツ施設の建設を計画しております。新たに整備する施設や設備を核とし、現在、ひまわりドームがある広場が常に若者の声が聞こえ、活気あふれる場所となるよう、今議会に公民館とアーバンスポーツ施設を合わせた設計・施工費として 6 億 2,000 万円を補正予算として計上しております。ご議決いただきますれば、早速に施工業者を選定し、令和 8 年 4 月のオープンを目指してまいりたいと考えています。

【森林整備促進条例】

次に、今議会にて上程いたします、美作市森林整備促進条例（案）についてですが、美作市内の森林整備を促進させるため、森林経営管理法第 3 条第 1 項の規定及び基本理念にのっとり、森林整備の重要性を深く認識し、森林所有者、美作市、森林組合、事業者が相互の連携と協働による森林整備を行なうと共に、森林所有者からの山林の寄附の受け付け及び自治体間及び民間企業との協働による森林整備を推進し、本市の豊かな森林の保全及び創造に寄与することを目的とした基本となる条例が必要と判断し、本条例の制定を提案させていただいております。

【令和 5 年度決算】

次に、令和 5 年度決算に伴う財政状況ですが、基金残高は将来の建設事業に備えるため、公共施設整備基金への積み立てを行ったことにより、普通会計ベースで約 4 億円増加しました。

また、基金運用については、運用方法の見直しにより、運用益の増加につなげており、令和 5 年度では、約 1 億 4 千万円の運用益を得ることができております。地方債残高は、大規模建設事業の実施に伴い、前年度と比較して約 9 億円増加し、約 238 億 6,200 万円となっています。

地方債残高のうち、交付税で補てんされる額を除いた正味の残高は約 42 億円となっており、そのすべてが基金により返済でき、更に 52 億ほどの余裕がある状況となっています。これらの結果、健全化判断比率である実質公債費比率は、前年度と同率の 10.8%、将来負担比率は、5 年連続で算定値なしとなりました。これは、現時点の財政状況が、将来の財政を圧迫する可能性がないことを示しております。今後も引き続き財政状況に十分注視しながら、事業を進めて参りたいと考えております。

【企画振興部所管分】

最後に、市を上げて応援・支援を行っている「岡山湯郷ベル」が参戦している「なでしこリーグ 2 部」のリーグ戦が 9 月 29 日から再開され

ます。チームは開幕から好調な成績を収めており、残り 5 試合を残し、15 勝 2 分けの勝ち点 47 で、2 位のチームに勝ち点 14 差をつけており、早ければリーグ戦の再開となる 9 月 29 日に優勝が決定し、念願である 1 部昇格を勝ち取ることになります。湯郷ベルが優勝した場合には、予備費から優勝褒賞金としての支出を考えておりますので、皆様にご理解を賜りたいと思います。

また、ホームゲーム最終戦が、10 月 26 日（土）に美作ラグビー・サッカー場で開催され、当日は、美作市内の小学生を無料招待する湯郷ベル応援デーを設け、試合終了後には「優勝祝賀セレモニー」を行う予定としており、市民・サポーターの皆さんと一緒に祝いしたいと考えております。

以上、諸行政の一端をご報告申し上げまして、議会の審議の一助にさせていただくとともに、市民の皆さまの美作市政に対するご理解とご支援にさせていただければと考え、行政報告とさせていただきます。

なお、本会議における諸議案の提案説明等につきましては、副市長より行いますので、よろしく願いいたします。